

令和 6 年度 第 2 回練馬区立生涯学習センター運営懇談会 会議要録（概要）

- 1 日時 令和 7 年 3 月 14 日（金） 午前 10 時 30 分～11 時 35 分
- 2 場所 生涯学習センター 第二教室
- 3 出席者 長田委員、川井委員、岡本委員、長富委員、鈴木委員、山本委員、田村委員、
押田委員
（練馬区）文化・生涯学習課長 （事務局）生涯学習センター所長、副所長
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 なし
- 6 次第
 - (1) 文化・生涯学習課長挨拶
 - (2) 議題
 - ① 令和 6 年度事業結果報告
 - ② 令和 6 年度施設利用状況
 - ③ 令和 7 年度事業計画
 - (3) その他
- 7 配布資料
 - 資料 1 令和 6 年度事業結果報告
 - 資料 2－1～2－4 施設利用状況
 - 資料 3－1～3－2 利用者アンケート結果
 - 資料 4 令和 7 年度事業計画（案）
- 8 会議の概要
 - (1) 文化・生涯学習課長挨拶
 - (2) 議題
 - ①令和 6 年度事業結果報告
事務局から資料 1 に基づき説明（内容省略）
 - ②施設利用状況
事務局から資料 2－1 から 2－4、資料 3－1 から 3－2 に基づき説明（内容省略）

<座長> 以上の報告内容について委員の皆様からご意見をお願いいたします。

<委員> 先日、石神井公園ふるさと文化館の企画展「石神井ものがたり」に行きましたが、館内は文化的な展示が多く、歴史に関心のある方には良い施設だと思いました。生涯学習センターと石神井公園ふるさと文化館がコラボをすることでより良い講座ができるのではないのでしょうか。

<課長> 石神井公園ふるさと文化館は文化・生涯学習課の所管で、練馬区文化振興協会が運営しています。ふるさと文化館は博物館的な機能を有しており、学芸員が地域の文化・歴史を研究して成果を展覧会に活かしたり、石神井公園ガイドツアーのような区内散策事業の企画等を行ったりしています。練馬の歴史的な展示としては、開催中の「石神井ものがたり」の他「練馬大根いまむかし」等を開催してきました。現代のテーマとしては、村上もとか館長は現役の漫画家でもあるので、石神井公園のお花見会での漫画家同士のつながりや人間関係を博物館的アプローチで展示した「大漫会の漫画家たち」を昨年開催しました。また、ふるさと文化館は区民文化祭の手工芸作家展、書道展の会場にもなっています。博物館は温湿度管理を含めて展示環境が整っているので、生涯学習団体が活動を披露して見てもらう場となれば良いと思います。

<委員> 墨田区、北区、文京区と色々な博物館を見学しましたが、石神井ふるさと文化館が、一番施設が整っているように思いました。子供が土器の立体パズルを楽しそうに組み立てていたのが印象的でした。

<課長> ふるさと文化館は、歴史を知ってほしいという内容の博物館です。練馬は、開発行為が行われると土器があちこちから発掘されてきました。生涯学習センターとふるさと文化館とは同じ組織なので、うまく横の連携を取っていききたいと思います。

<委員> 講座の活動継続者が多いようなので、今後もぜひ続けていただきたいと思います。サークル活動などで調べ物をしたいときや、書籍を探したいときは、ぜひ図書館のレファレンスサービスをご利用ください。

<委員> 先日、練馬区立美術館の区民美術展に作品を出品したところ、賞を受賞し、大変励みになりました。多くの美術展では出展料が必要なのですが、出展料が不要にも関わらず表彰していただけるのは、とても素晴らしいことだと思いました。

<委員> 普段、分館を利用しています。和室は現在使えるようになりましたが、講座室8・9は、区の事業で使用ということで一般利用ができない状態です。それぞれ51名入れる部屋なので、できれば利用したいのですが、いつ頃から使えるのでしょうか。

また、先日、講座室で楽器利用者がいましたが、私たちの団体と部屋が隣合っており、楽器の音が気になりました。楽器の利用は可能なのでしょうか。

利用者アンケートの中には、21時30分まで使えてありがたいという意見があったようですが、午前中からイベントを行う場合など、準備の関係で8時30分から部屋が借りられると助かります。

<所長> 分館の和室、講座室8と9は、新型コロナワクチンの配送拠点として、令和6年度の途中まで利用していました。その用途が終了したため、和室は一般利用可能になっていますが、講座室8と9については、現在、一般利用に供していません。区で様々な事業を行う中で、施設面での余裕がないことから、当面は区の事業用としての利用を継続させていただいております。

次に講座室の楽器利用ですが、ご指摘の部屋は、音量小の器楽が利用可能な部屋となっています。ただし、音が大きい等の問題がありましたら、分館のスタッフまでお申し付けください。

続いて施設の利用時間についてです。利用開始時間は、午前9時からとなっています。利用時間には、準備や後片付け等の時間を含んでおりますのでご協力をお願いいたします。

<委員> 縁ジョイ倶楽部の講演会ですが、当日キャンセルがあったとしても参加者196名は少ないように思います。有名な方が講師で、聞きたかった方も多いと思いますので、今後はキャンセル待ち対応をしてはいかがでしょうか。

<副座長> 文化団体舞台発表促進事業で、ホール貸出し希望は1件しかありません。定員割れやキャンセルが多いことについて、認識を変えて考えてみたいと思うのはいかがでしょうか。

<所長> 縁ジョイ倶楽部の講演会は、定員を超える申し込みがありましたが、当日キャンセルが多く、実際の参加者は196名となってしまいました。この原因としては、区報を見て申し込みをした日と実際の開催日まで時間が空いてしまったため、講演会に申し込んだことを忘れられてしまった可能性があります。来年度については、広報や申し込みの時期を開催日に近づけることや、申し込みされた方に対して、何らかの形でリマインド（思い起こしてもらうこと）が出来ないか検討したいと思います。ま

た、合わせて、今回は行いませんでしたが、キャンセル待ち対応についても検討していきます。他のイベントも含め、定員割れやキャンセルが多く生じないよう、工夫し、大勢の方に参加していただけるようにしたいと思います。

<委員> 文化団体舞台発表促進事業についてです。3月に募集して、申込の結果がわかるのが5月下旬以降なので、例えば年度の早い時期の開催であると、チラシの発注等が間に合わないことが考えられます。もう少し準備期間が取れば良いのですが。

<副所長> 文化団体舞台発表促進事業については、利用の少ない平日夜間のホールを利用して実施していただく事業となっています。また、ホールの利用抽選後に利用申請していただくことになっているため、募集の時期を早めるとしても、その部分を考慮に入れて検討していく必要があります。

<座長> 手工芸作家連盟は、今年で創立30周年を迎えます。20数団体の様々なジャンルの先生が所属しています。当初は練馬公民館時代にこちらで5年ほど作家展を行っていましたが、ふるさと文化館開館時から拠点をそちらに移しています。出品者一人ひとりがみな教える側なので、作品の見ごたえもあると思います。今年の11月にはココネリで周年事業を行います。人生100年時代で、何か自分のできることをぜひ見つけてほしいというところから始まりました。こちらの施設で始めた作家展ですので、センターの事業のひとつとしてご覧いただければありがたいと思います。

また、区民の方からは、なかなか自分のものづくり発表の場がないと聞いており、そこで、手工芸作家連盟、伝統工芸会、文化振興協会と練馬区で実行委員会を作り、一般の方を対象とした公募展を立ち上げました。

<課長> 手工芸作家展は11月20日から区との共催で行いますので、盛り上げていきたいと思っています。先週は、美術館で区民美術展の表彰式を行いました。今後も、自発的に制作活動、文化芸術活動に取り組む方が更に増えていくようにPRしていきたいと考えています。

③令和7年度事業計画

事務局から資料4に基づき説明（内容省略）

<座長> 以上の報告内容について委員の皆様からご意見をお願いいたします。

— 特に意見なし —

(3) その他

<副座長> 生涯学習センターとしての強みを活かし、その上で他との連携を考え、そのために我々が区に協力できることがあれば、率先してやっていく、そういった仕組みを考えていってもらえれば、広がりが出てくるのではないかと思います。

<座長> こちらはもともと練馬公民館として、教育委員会が所管していましたが、時代とともに、区民の方々の意見で運営していく生涯学習センターに変わりました。以前に比べると、施設利用率が増えているように思います。春の縁ジョイ倶楽部には、手工芸作家連盟の先生お二人が講師としてかかわる予定です。我々も事務局に頼るばかりではなく、互いに話し合いを行い、更に良い施設としていきたいと思います。では、以上で本日の生涯学習センター運営懇談会を終了いたします。